

## 会 議 録

会 議 名	令和5年度文化によるまちづくり推進委員会部会 (A班)	
開 催 日 時	令和5年10月13日 (金) 18時～19時30分	
開 催 場 所	市役所3階 小会議室	
出 席 者	縄田 也千、廣田 由実、穉本 真一、竹内 道子	委 員 数 5人 出席者数 4人
欠 席 者	八橋 裕起	欠席者数 1人
事務担当課 及び職員	協創部文化スポーツ推進課 文化スポーツ推進課：原田、別府係長	
事務局 (原田)	<b>事務局が作成したアンケート (案) について</b>  資料に沿って説明後、意見があれば来週中の連絡をお願いした。	
事務局 (原田)	<b>フリートーク</b> <b>○ 担い手の育成・若手芸術家の活動支援について</b> <b>○ コーディネーターの確保と活用について</b> <b>○ 委員の皆さんが思う「文化」のイメージ</b>	
委員	文化芸術振興ビジョンに記載のある、若手芸術家の活動支援やコーディネーターについて、策定時の職員が現在はいないためイメージが沸かない。特に、廣田委員や竹内委員はビジョン策定時にも委員としておられたので、具体的なイメージがあれば御教示願いたい。	
委員	コーディネーターとは、本市の文化活動全般をつなぐ人材。東京などから素晴らしい人材を招聘するのではない。市内に適任の方がおられるか分からないが、常識的で情熱を持った人を想定している。私たちも勉強しながら成長していくものだと考える。	
委員	それは、文化協会とは違うのか。	
委員	違う。文化協会は組織である。個人が全体を見渡せて行動ができる方だと考える。	
委員	その人はどのような立ち位置で雇用するのか。	
事務局	ビジョンでは、「市が求めるコーディネーター像を確立し、市内外の人材を活用しながら養成を行うと同時に、コーディネーターを核としたデー	

	<p>タベース構築・活用やネットワーク形成の促進、他分野への活用を検討する。」と定義している。この人は市が雇用するものだと考える。</p>
班長	<p>どのような市にしたいのか。田舎でも芸術で成功した例はいくつもある。新潟県十日町とか、瀬戸内に浮かぶ香川県の直島など。小さい町に世界中の人がやってきている。どうしたら、このような町になるのか。山陽小野田市では刈屋は風情がある。市長に意見したとき、全体をデザインするのは居住者がいるため難しいと云われたが、限られたエリアでアート活動を行えば面白いと云われたことがある。</p>
委員	<p>芸術だけでなく、クリエイティブな方が住むと良い。制作活動に疲れたら、海や山があるから癒される。</p>
班長	<p>ガラス未来館ができたとき、発展すると期待したが期待外れであった。</p>
委員	<p>文化によるまちづくりを進めるためには、私達委員がワクワクしないとできない。実際に現場（きららビーチとか）に行って、勉強して成長しないと市民の思いは汲み取れない。それを引っ張っていく存在がコーディネーターであつたら良い。</p>
委員	<p>市内には地域資源がたくさんある。イベントも企画するが、この地域の方には、その良さがなかなか届かない。お金がかかるのが問題かと思っていたが、そうではない。タダでも人が来ない。</p>
班長	<p>理科大にはたくさんの若者がいる。いろんな地域から人が来ている。</p>
事務局	<p>コーディネーターの雇用形態について、地域おこし協力隊として都市部から条件を付けて募集したらどうかと考えるが如何か。</p>
班長	<p>東京では、廃校を活用して様々な芸術家が集まる施設として賑わっている箇所がある。外から来た人が環境を変えることは良いかも。</p>
委員	<p>ガラスアートのまちとして、ガラスのブランド化を進めているが、成功するのか。</p>
班長	<p>ガラスだけでは厳しいと思う。ガラス未来館ができたとき、そこに小さな画廊ができると思っていた。小野田に住む画家は小野田に期待していない。宇部の菊川画廊やギャラリー小川を利用している。小野田には美術館も画廊もない。宇部は小さいながらも、皮工芸や陶芸、紅茶などお</p>

	<p>しゃれな店があるが、小野田には見当たらない。←〈私見〉 市内には、あざかみ美術館があるが、作品は菊川画廊で揃えたものだ。</p>
委員	<p>文化で町おこしをするのか。外から見て山陽小野田市には動きがあるとみられたい。そのためには、何をすれば良いかコーディネーターに教えてもらうか、2～3人でチームを作って、しばらくの間、手弁当でも良いからいろんな仕掛けをしてみるとか。</p>
班長	<p>山陽小野田市にも野心を持った若い人は絶対にいる。理科大でも起業家を目指している者がいる。SNSやパソコンが得意な者を活用すべき。</p>
委員	<p>でもイベントをやっても、大概1回見たら次は見なくても良いと云われる。落語であれば毎回話は変わるし、ジャズでもメンバーが変われば全然違うのに、この地域の方はなかなか来ない。カフェ wakayama であれば30人で一杯になるのに集まらない。フジグランの映画館も普段はガラガラ。興味がある人が少ない。</p>
班長	<p>話しは変わるが、文化会館の「便所」が嫌い。あれはトイレではなく便所である。今の子はウォッシュレットやパウダールームが必要である。それが日本の文化になっている。理科大のトイレは綺麗になっている。</p>
委員	<p>若手芸術家の活動支援で、例えば若手芸術家を「小野田吹奏楽」としたら、日本で有名な吹奏楽の団体を本市に呼ぼうとか、勉強しようとかムーブメントが起こってほしいが、起こらない。有名なヴァイオリニストが来たとき、紹介しても聴きに来ない。上手な演奏が聴くことが上達のカギなのに。</p>
委員	<p>プロの人は他人の音楽を聴きたがらない。</p>
委員	<p>プロなら良いけど、アマチュアの人達も同じ傾向である。そのような人をどのように支援していくのか。プロの演奏を聴く土壌が地域にない。</p>
班長	<p>有能な若手は支援がなくても自分で探して自ら外に出て行っている。話しは変わるが、小野田のガラス展は見たくない。今の美術館は照明が凝っているが、商業施設では到底無理な状況で、会場もガヤガヤしているから。</p>
委員	<p>それでも感動している子はいた。この街は一回仕掛けてもなかなか伸びてこない。この街に美術館が建てられないから。</p>

班長	菊川画廊の方に、小野田のガラス文化が発展しない理由を聞いたことがある。回答は、発展するためには一人でも良いから熱狂的なファンがいれば良いとのこと。
委員	話しは変わるが、今年の夏に名古屋で「よさこい」を初めて観たが、これは総合芸術だと思った。もともと中京大学の学生が北海道のフェスに参加して地元でできないか検討した結果、今では数百団体が参加する大きなイベントに成長している。
委員	住吉まつりでもやっている。時間がないため断っている状況である。
委員	ヒップホップや「よさこい」も、文化協会でやっていきたいが、なかなかできない。引っ張ってくれる存在が居たらもっと盛り上がる。
事務局	他の分科会で「若手の芸術家を支援する会」について、竹内先生が詳しいと意見を伺ったが、御存知か。
委員	「若い芽を育てる会」のこと。芸術・文化を志す若い人が応募してくる。その中から10人ぐらいの候補者を招き、奨励賞を選び、お金と精神的なバックアップをしている。牛尾医院の理事長や本市出身のヴァイオリニストの御手洗美代子さんが引っ張っている。理事とかの組織が整備されているNPO法人が運営している。
班長	女性をターゲットにした取組をした方が良い。年配でも若手でも女性の方にパワーがあり、女性が男性を連れてくる。また、理科大の学生（若者）を活用すべき。
委員	コロナ禍前に、理科大生と小野田音楽連盟が一緒に取組をしたが、また一緒にやりたいと思っている。
委員	支援する人は芸術や文化でプロを目指す人か。
事務局	そんなことはない。今までの話しを聞くなかで、市内の大学生や高校生が行う芸術や文化活動の発表の場作りに係る支援や他県、他市への参加費用（旅費を含む）に対する支援を行ってみたいと考えている。

～終了～